

環境行動目標（目標と実績）

カシオは、世界的な動向を踏まえた環境経営方針を軸に、各年度ごとに環境目標を設定し環境活動を推進しています。

2010年度 カシオ環境行動目標

製品にかかわる行動目標

1. 環境適合型製品の開発目標

2012年度 カシオグリーンスター商品の売上比率**30%**



工場・事業所にかかわる行動目標

1. 中長期の温室効果ガス削減目標

中期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2020年度に**30%**削減

長期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2050年度に**80%**削減

※ 事業活動：国内および海外の生産拠点とオフィス拠点の活動を指し、物流、製品使用、従業員移動などに伴うCO₂の排出は含まない。

2. 省エネルギー目標（電力・燃料など）

国内 生産拠点

実質生産高（二酸化炭素（CO₂）原単位）を、1990年度に対し、2008年から2012年度（5年間）の平均値で**35%**削減

※ 実質生産高：電気電子4団体の方針に基づき、日銀国内企業物価指数（電気機器）で名目生産高を補正したもの。

海外 生産拠点

生産高（二酸化炭素（CO₂）原単位）を、2004年度に対し、2012年度までに**30%**削減

国内 オフィス拠点

二酸化炭素（CO₂）排出総量を、1990年度に対し、2008年から2012年度（5年間）の平均値で**9%**削減

海外 オフィス拠点

二酸化炭素（CO₂）排出総量を、2004年度に対し、2012年度までに**3%**削減

3. CO₂以外の温室効果ガス削減目標

2010年までに、CO₂以外の温室効果ガス総排出量（CO₂換算）を**2000年排出量以下**とする

- ・SF₆の廃止または削減
- ・HFC-134aの削減

※ デバイス生産工程で使用するSF₆を廃止または削減する。

※ HFC-134aを使用しているダストブローアなどを、より地球温暖化係数の低い化学物質を使用している製品に切り替える。

4. 省資源目標（水、紙）

国内 生産拠点

水使用量の実質生産高原単位を、2000年度に対し、2012年度までに**25%**削減

海外 生産拠点

水使用量の生産高原単位を、2004年度に対し、2012年度までに**15%**削減

国内 オフィス拠点

オフィス用紙使用量の売上高原単位を、2007年度に対し、2012年度までに**10%**削減

5. 廃棄物削減目標

国内拠点

廃棄物発生量の実質売上高原単位を、2000年度に対し、2012年度までに**50%**削減

海外 生産拠点

廃棄物発生量の売上高原単位を、2004年度に対し、2012年度までに**30%**削減

6. VOC(揮発性有機化合物)削減目標

国内
生産拠点

VOCの大気排出量を2000年度に対し、2010年度までに**30%**削減

※ 電機電子4団体にて、VOC20物質を指定。カシオは、8物質を使用中。

7. 有害物質の使用廃止目標

保管中のPCB含有機器を日本環境安全事業(株)のエリア別事業状況に合わせ無害化処理を行う

・甲府カシオ:2014年度まで

※八王子技術センターで保管中の低濃度コンデンサを含む安定器については、受け入れ可能となるまで保管を行う。

8. PRTR法対象化学物質の排出量削減目標

国内
生産拠点

対象化学物質の排出量実質生産高原単位を、2003年度に対し、2012年度までに**40%**削減

9. グリーン調達の実施目標

2010年度 グリーン部品調達率(資材発注全部品に対するグリーン部品^{※1}の率) 国内 / 海外拠点**100%**^{※2}

※1グリーン部品:カシオが指定する禁止物質が非含有の購入資材、部材。

※2顧客要望に基づき、法規制範囲内でカシオが指定する禁止物質を使用する場合を除く。

10. グリーン購入の実施目標

2012年度 国内拠点の文具、事務用品、OA機器類のグリーン購入比率**75%**(件数ベース)

※ CATS e-Pシステム導入拠点を対象

事業活動全般にかかわる行動目標

1. 生物多様性の保全目標

生物多様性・生態系サービスの保全のため、2011年までに、すべての事業領域において生物多様性影響度調査を行い、施策テーマを制定する

■ 2009 年度 カシオ環境行動目標実績

	活動テーマ	目 標	基準年 原単位など	目標年 目標原単位など	2009 年度 実績原単位など	2009 年度末までの 実績	達成度 自己評価
製品にかかわる行動目標					下段 () 2008 年度	上段：対基準年度比 下段：(対前年度比)	
1：環境適合型製品	グリーンスター商品売上比率の向上	2012 年度 グリーンスター商品の売上比率 30% [グリーン商品売上比率 80%以上を継続]	—	30% [80%以上]	15.8% [83%]	達成率 52.7% [達成率 100%]	☆

工場・事業所にかかわる行動目標

1：省エネルギー (電力・燃料等)	CO ₂ 排出量の削減 (国内生産拠点)	実質生産高原単位を 1990 年度に対し、2008 年から 2012 年度 (5 年間) の平均値で 35%削減	0.312 (トン・CO ₂ / 百万円)	0.203 (トン・CO ₂ / 百万円)	0.217 (※) (0.181) (トン・CO ₂ / 百万円) (※) 2008 年度と 2009 年度の平均値	30.4%減 (19.9%増)	☆
	CO ₂ 排出量の削減 (国内オフィス拠点)	CO ₂ 排出総量を 1990 年度に対し、2008 年から 2012 年度 (5 年間平均) の平均値で 9%削減	11,492 (トン・CO ₂)	10,458 (トン・CO ₂)	9,533 (※) (9,655) (トン・CO ₂) (※) 2008 年度と 2009 年度の平均値	17.0%減 (1.3%減)	2009 年度 ☆☆☆
	CO ₂ 排出量の削減 (海外生産拠点)	生産高原単位を 2004 年度に対し、2012 年度までに 30%削減	0.235 (トン・CO ₂ / 百万円)	0.164 (トン・CO ₂ / 百万円)	0.265 (0.291) (トン・CO ₂ / 百万円)	12.8%増 (8.9%減)	☆☆
	CO ₂ 排出量の削減 (海外オフィス拠点)	CO ₂ 排出総量を 2004 年度に対し 2012 年度までに 3%削減	5,099 (トン・CO ₂)	4,263 (トン・CO ₂)	7,362 (6,493) (トン・CO ₂)	44.4%増 (13.4%増)	●
2：温室効果ガス削減	CO ₂ 以外の温室効果ガス総排出量 (CO ₂ 換算) を 2000 年排出量以下にする	2010 年までに総排出量を 2000 年排出量以下とする	7,278 (トン・CO ₂)	7,278 (トン・CO ₂) 以下	11,355 (18,021) (トン・CO ₂)	56.0%増 (37.0%減)	☆☆
3：省資源 (水・紙)	水使用量の削減 (国内生産拠点)	実質生産高原単位を 2000 年度に対し、2012 年度までに 25%削減	0.0077 (千 m ³ / 百万円)	0.0058 (千 m ³ / 百万円)	0.0094 (0.0061) (千 m ³ / 百万円)	22.1%増 (54.1%増)	●
	水使用量の削減 (海外生産拠点)	生産高原単位を 2004 年度に対し、2012 年度までに 15%削減	0.0039 (千 m ³ / 百万円)	0.0033 (千 m ³ / 百万円)	0.0032 (0.0031) (千 m ³ / 百万円)	17.9%減 (3.2%増)	☆☆☆
	オフィス用紙使用量の削減 (国内拠点)	売上高原単位を 2007 年度に対し、2012 年度までに 10%削減	0.00035 (トン / 百万円)	0.00032 (トン / 百万円)	0.00041 (0.00037) (トン / 百万円)	16.2%増 (11.3%増)	●
4：廃棄物発生量	廃棄物発生量の削減 (国内拠点)	実質生産高原単位を 2000 年度に対し、2012 年度までに 50%削減	0.024 (トン / 百万円)	0.012 (トン / 百万円)	0.021 (0.014) (トン / 百万円)	12.5%減 (50.0%増)	☆
	廃棄物発生量の削減 (海外生産拠点)	生産高原単位を 2004 年度に対し、2012 年度までに 30%削減	0.012 (トン / 百万円)	0.008 (トン / 百万円)	0.0106 (0.0124) (トン / 百万円)	11.7%減 (14.5%減)	☆☆
5：VOC の削減 (揮発性有機化合物)	VOC 大気排出量の削減 (国内生産拠点)	2000 年度に対し、2010 年度までに 30%削減	47 トン	33 トン	32 トン (39 トン)	31.9%減 (17.9%減)	☆☆☆
6：有害物質の使用廃止	保管中の PCB 含有機器を日本環境安全事業 (株) のエリア別事業開始にあわせ無害化処理を行う	甲府カシオ保管分無害化処理は 2014 年度までに実施する	—	—	処理委託申請済み、受入可能となるまで保管を継続	—	
7：PRTR 法対象化学物質の排出量削減	対象化学物質の排出量削減 (国内生産拠点)	実質生産高原単位を 2003 年度に対し、2012 年度までに 40%削減	0.00011 (トン / 百万円)	0.00006 (トン / 百万円)	0.00005 (0.00004) (トン / 百万円)	51.2%減 (28.4%増)	☆☆☆
8：グリーン調達	グリーン調達率の向上	2010 年度 グリーン部品調達率 (資材発注全部品に対するグリーン部品 (※ 1) の率) 国内/海外拠点 100% (※ 2) (※ 1) カシオ指定の禁止物質を含有しない部品・材料 (※ 2) 顧客要望に基づき、法規制範囲内での含有は除く	—	2010 年度 100%	国内 100% 海外 100%	—	☆☆☆
9：グリーン購入	文具・事務用品・OA 機器類のグリーン購入比率 70%とする (国内拠点)	2009 年度購入比率 (件数ベース) 70%	—	70%	70%	—	☆☆☆☆
10：物流温暖化対策	CO ₂ 発生量の削減 (国内物流)	国内売上高原単位で 2000 年度に対し 2009 年度に 40%削減	1.14 (トン / 億円)	0.68 (トン / 億円)	0.79 (0.72) (トン / 億円)	31.1%減 (8.9%増)	*△
	CO ₂ 発生量の削減 (海外物流)	海外売上高原単位で 2004 年度に対し、2009 年度に 5%削減	17.13 (トン / 億円)	16.27 (トン / 億円)	20.98 (18.50) (トン / 億円)	22.5%増 (13.4%増)	●

事業活動全般にかかわる行動目標

1：生物多様性の保全	生物多様性・生態系サービスの保全	2011 年までにすべての事業領域において生物多様性影響度調査を行い、施策テーマを制定する	—	—	—	カシオ生物多様性活動方針、及びガイドライン制定のための調査・検討	☆
------------	------------------	---	---	---	---	----------------------------------	---

*物流温暖化対策は国内・海外ともに、削減対象範囲は製品・販売物流を表す。

*△：目標値は未達成だが、基準値より改善された

達成度評価基準	
①目標値を達成し、かつ新たに高い目標値が設定された	☆☆☆☆
②目標値を達成した	☆☆☆
③目標値は未達成だが、前年度よりは着実に改善された	☆☆
④目標値に向かって推進中であり、次年度以降に成果が見込まれる	☆
⑤基準値と同等か又は悪化している	●